

英会話初級

(選択2単位) 2年前期

Inoke Tulukinga Funaki, Jr. *

授業テーマ・内容

この授業では実用的な日常英会話を練習します。穴埋め文章問題はリスニング、カルチュラルヒントは海外の文化の違いを理解する、またペアワークはスピーキング能力の向上と流暢さを伸ばすための練習です。

カルチュラルヒントのページについては、課題を与えられることがあるので、インターネットなどを利用して異文化の習慣等について調べておくこと。

予習は毎回の授業までに数ページ分の単語、発音、文章の意味などを調べる。授業中は出来るだけ大きな声で発話すること。また、会話力の上達は反復練習によって習得されるため、授業外での復習が非常に大事です。テキストに出てくるフレーズは基本的な会話の文章なので覚えるくらいまで声を出して練習するように。

到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

このコースのゴールは一般的な英語の読む、聞く、書く、話す、の全てにおいて学生の理解力と自信を向上させることと同様に、実用的な英会話技能を向上させることです。日常のシーン別に自然で状況にふさわしい会話ができるようになるのがねらいです。

この授業は毎回の出席および授業態度が評価の大きなポイントになります。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	—%
中間試験	—%
小テスト	40%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	60%

テキスト

Speak Easy in Daily Conversation
J. Metheny Sun Mihall Language Service

参考書

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

履修条件

備考

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	“Introductions”	Unit 1, pp. 1-2 Introductions	予) Introductions (2H) 復) Introductions (2H)
第2週	“Introductions” (cont...)	Unit 1, pp. 3-5 Getting to Know You	予) Getting to Know You / Fill in the Blanks (3H) 復) Introductions (3H)
第3週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 1, p. 6 My Story	予) Fill in the Blanks (2H) 復) My Story (2H)
第4週	Various Exercises	Unit 1, pp. 7-8 / Unit 3, p. 1 Role Play	予) Own Role Play / Match the Sentences (2H) 復) Own Role Play (2H)
第5週	“What Do You Do In Your Free Time?”	Unit 3, p. 2 Getting to Know You	予) Fill in the blanks / Getting to Know You (2H) 復) Getting to Know You (2H)
第6週	“What Do You Do In Your Free Time?”	Unit 3, p. 3 Adverbs of frequency	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Adverbs of frequency (2H)
第7週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 3, pp. 4-5 My story	予) Fill in the Blanks (2H) 復) My story (2H)
第8週	Various Exercises	Unit 3, pp. 5-7 Hobbies	予) Match the Sentences / Hobbies (2H) 復) Hobbies (2H)
第9週	“The Good Listener”	Unit 4, pp. 1-3 Do, Does and Wh- questions	予) Do, Does and Wh- questions (2H) 復) Do, Does and Wh- questions (2H)
第10週	“Making A Phone Call”	Unit 5, pp. 1-3 Telephone conversations	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Telephone conversations (2H)
第11週	“Making A Phone Call” (cont...)	Unit 5, pp. 4-5 Telephone conversations	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Telephone Conversations (2H)
第12週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 5, pp. 5-6 My Story	予) Getting to Know You (2H) 復) My Story (2H)
第13週	Various Exercises	Unit 5, pp. 8-10 Information Exchange	予) Information Exchange (2H) 復) Information Exchange (2H)
第14週	Time Expressions	Unit 6, pp. 1-2 Time Expressions	予) Time Expressions (3H) 復) Time Expressions (3H)
第15週	Review Test		

生涯スポーツ I

(選択1単位) 2年前期

村上弘一、羽田信子*

授業テーマ・内容

生涯スポーツの生活化について、理論と実技を一体化させた演習形態で学ぶ。健康生活を営むために生涯を通して親しめる各種スポーツやレクリエーションスポーツなどの運動を体験学習する。生涯にわたるスポーツライフや心身の健康づくりにおいては、個人の年齢、体力、嗜好に応じたスポーツを選ぶ必要がある。そのための知識や技術を習得し、適切なスポーツ学習を通して幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質と、心身ともに健康的な生活態度も合わせて学習する。

到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

スポーツの実践を通して体力とスキルの向上を図り、生活の中に運動を取り入れる必要性を理解し、実践する基礎的能力を養うことを目標とする。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	－%
中間試験	－%
小テスト	－%
演習課題	－%
レポート	40%
平常点	60%

テキスト

参考書

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

履修条件

備考

各種目グループ別で授業内容検討

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	予) シラバスをよく読んでおくこと。(0.5時間) 復) 授業概要を確認しておくこと。(0.5時間)
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予) 柔軟体操を行っておく。(0.5時間) 復) ストレッチングの方法等を復習しておく。(0.5時間)
第3週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・硬式テニス・ソフトボール等8種目	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第4週	〃	〃	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第5週	〃	〃	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第6週	〃	〃 (レポート提出)	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第7週	グループ対抗戦		予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第8週	各グループにおける種目選択	バドミントン・卓球・フットサル・サッカー等8種目	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第9週	〃	〃	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第10週	〃	〃	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第11週	〃	〃 (レポート提出)	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第12週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・硬式テニス・ソフトボール等8種目	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第13週	〃	〃	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第14週	〃	〃	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第15週	〃	〃 (レポート提出)	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)

生涯スポーツⅡ

(選択1単位) 2年後期

村上弘一、羽田信子*

授業テーマ・内容

生涯スポーツの生活化について、理論と実技を一体化させた演習形態で学ぶ。健康生活を営むために生涯を通して親しめる各種スポーツやレクリエーションスポーツなどの運動を体験学習する。生涯にわたるスポーツライフや心身の健康づくりにおいては、個人の年齢、体力、嗜好に応じたスポーツを選ぶ必要がある。そのための知識や技術を習得し、適切なスポーツ学習を通して幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質と、心身ともに健康的な生活態度も合わせて学習する。

到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

スポーツの実践を通して体力とスキルの向上を図り、生活の中に運動を取り入れる必要性を理解し、実践する基礎的能力を養うことを目標とする。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	－%
中間試験	－%
小テスト	－%
演習課題	－%
レポート	40%
平常点	60%

テキスト
プリント
参考書

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

履修条件

備考
各種目グループで授業内容検討

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	予)シラバスをよく読んでおくこと。(0.5時間) 復)授業概要を確認しておくこと。(0.5時間)
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予)柔軟体操を行っておく。(0.5時間) 復)ストレッチングの方法等を復習しておく。(0.5時間)
第3週	各グループにおける種目選択	バドミントン・卓球・フットサル・サッカー等8種目	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第4週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第5週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第6週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第7週	グループ対抗戦		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第8週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・硬式テニス・ソフトボール等8種目	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第9週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第10週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第11週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第12週	各グループにおける種目選択	バドミントン・卓球・フットサル・サッカー等8種目	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第13週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第14週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第15週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)

日本語のはじまり

(選択2単位) 2年後期

斎藤安輝

授業テーマ・内容

人類の発生と進化、言葉の獲得といった、人類学の初歩および、文学の発生や、漢字の伝来とその定着に始まる主に仮名成立以前の漢文による文学、「古事記」・「風土記」・「萬葉集」など平安以前の古代日本の文学と歴史の展開を、実際に毎回作品を通して具体的に学ぶ。

到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

個々の事項を知るといより、講義により得た知識から、「歴史とは何か」「文学とは何か」「人間とはどういう存在か」などということを実験的に考えて答えを求め、「演繹的思考法」を身につけることが本講義の目指すところである。

成績評価の方法・評価基準

平常試験(完全論述式)	80%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	20%

テキスト

随時プリント配布

参考書

新日本文学史 秋山虔編 文英堂

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

毎回冒頭に課題を提示し、簡単なレポートを記述して提出。それらをもとに、質問、討論を行う。

履修条件

平安遷都以前の初歩的な日本史の知識を要す。

備考

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	文化と人類	人類にとって文化とは何か	予)文化の定義とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第2週	人類の誕生と進化①	猿人の誕生	予)霊長類とヒトの違いは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第3週	人類の誕生と進化②	直立二足歩行	予)直立二足歩行はヒトに何をもたらしたか?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第4週	人類の誕生と進化③	親指の対向性	予)自分の手はどのような構造になっているか?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第5週	人類の誕生と進化④	道具の使用	予)道具とは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第6週	モンゴロイドの大移動	原人の脱アフリカ	予)人種とは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第7週	日本人のルーツ①	縄文人	予)縄文時代とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第8週	日本人のルーツ②	弥生人	予)弥生時代とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第9週	移動と定住	狩猟採集生活と稲作定住生活	予)生活のスタイルはどう違うか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第10週	戦争と土地占有	戦争の起源と弥生時代	予)ヒトはなぜ戦争をするのか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第11週	国占めと国見 -大王の土地占有-	『風土記』に見る土地占有説話	予)土地を占有するためには何をすればよいか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第12週	無文字と口承 -カタリ <small>カタル</small> の文学	口承文学と漢字の伝来	予)文字を使わずに言葉を伝達する方法は?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第13週	国生み神話 -日本のはじまり-	『古事記』の国生み神話	予)どのような日本神話を知っているか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第14週	古代の死生観① 黄泉国	日本人は「死」をどのように考えているか	予)「死」と「生」の違いは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第15週	平常試験		予)試験範囲の復習(3時間) 復)答案の検討(1時間)

社会と経済のしくみ

(選択2単位) 2年前期

荒井敏男*

授業テーマ・内容

現代の「社会と経済」のしくみおよびその問題点について理解するために、前半では経済学の基礎知識と歴史を学ぶ、言わば「しくみ」についての学習である。具体的には、基礎知識では市場のメカニズム(資本主義経済)の理解を中心に学び、歴史では第2次世界大戦後の日本経済の歩みを振り返っていききたい。

後半では、現在の経済社会における諸問題について考察する。例えば、働き方の改革や外国人労働者の受け入れが国会で議論されてきたが、一部産業での人手不足が言われる一方で、私たちの雇用環境の悪化も深刻化している。こうした状況下どのような改革が求められているのか、といった時事的な事項を取り上げつつ、具体的な現状を念頭に、学生諸君とともに考えていきたい。

到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

授業を通じて、学生諸君が新聞やTVニュースで報じられる経済問題や社会問題を理解できるようになること。また、卒業後、社会人としてキャリアを積んでいく際に、「自学自習」できる基礎的な素養を養うこと。この2点を授業の到達目標とする。経済学を本格的に学んだことのない人が大半であるので、様々な現実の事例に言及したり、基本的な事項をその都度、確認・説明していくなど、できるだけわかりやすい講義を心がけたい。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	70%
中間試験	30%
小テスト	—%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	—%

テキスト

教科書は使用しない。

参考書

- ①は第1～4週の講義に、②は第5週～第9週の講義に、③～⑥は第10週からの講義に関連する参考書である。
- ①『高校生のための経済学入門』(小塩隆士、ちくま新書)
 - ②『戦後の日本経済』(橋本寿朗、岩波新書)
 - ③『成熟日本への進路』(波頭亮、ちくま新書)
 - ④『どうなる世界経済』(伊藤元重、光文社新書)
 - ⑤『日本経済入門』(野口悠紀雄、講談社現代新書)
 - ⑥『金融史がわかれば世界がわかる』(倉都康行、ちくま新書)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

中間試験の解説を通じて、授業内容のさらなる理解を進めていきたい。

履修条件

TVニュースや新聞等を通じて、日ごろから経済や社会に関する報道(情報)に目を配っておくことが望ましい。

備考

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
<経済学の基礎知識>			
第1週	資本主義経済の歴史と理念	資本主義と社会主義、ケインズ経済学、市場原理主義	予)シラバスを通じた授業の概要の把握(約2時間) 復)授業概略の確認と経済学の基本的な考え方の理解(約2時間)
第2週	市場と経済主体	市場メカニズム、様々な市場	予)参考文献①の市場の機能に関する箇所(約2時間) 復)資本主義経済の特徴と関連する市場の機能についての確認(約2時間)
第3週	経済政策	財政金融政策、産業政策	予)参考文献①の経済政策に関する箇所(約2時間) 復)市場への政府の介入(約2時間)
第4週	グローバル市場の展開	国際取引、為替相場、企業の国際的な事業展開	予)参考文献①の国際経済に関する箇所(約2時間) 復)身近な国際取引の事例について(約2時間)
<戦後の日本経済の歩み>			
第5週	復興期	戦争の被害、民主化、ドッジライン、朝鮮戦争特需	予)参考文献②の復興期に関する箇所(約2時間) 復)復興期の特徴の整理(約2時間)
第6週	高度成長期前期	高度経済成長の要因	予)参考文献②の高度経済成長期に関する箇所(約2時間) 復)高度経済成長の要因の整理(約2時間)
第7週	高度成長期後期中間試験(予定)	高度経済成長の帰結	予)参考文献②の高度経済成長期に関する箇所(約2時間) 復)高度経済成長期の問題点の確認(約2時間)
第8週	激動の70年代	ニクソン・ショックと石油ショック	予)参考文献②の石油危機に関する箇所(約2時間) 復)日本経済の70年代における変化の整理(約2時間)
第9週	経済大国化への道	輸出の拡大、円高不況	予)参考文献②の石油危機以降の日本経済に関する箇所(約2時間) 復)80年代の低成長から経済大国化への変化の要因の整理(約2時間)
<現代の経済社会の課題>			
第10週	バブル経済とその崩壊	失われた20年	予)参考文献③のバブル経済に関する箇所(約2時間) 復)バブル経済の帰結についての確認(約2時間)
第11週	規制緩和	雇用の流動化などの規制緩和の帰結	予)新聞などから雇用の現状について調べる(約2時間) 復)新自由主義的政策についての整理(約2時間)
第12週	日本社会の変化	少子高齢化・家族の変容・貧困問題	予)参考文献③から日本社会の近年の変化を調べる(約2時間) 復)日本社会の変化についての整理(約2時間)
第13週	グローバリゼーションと世界経済の危機	脅かされる自由貿易:米中貿易戦争に見られる保護主義の台頭	予)参考文献④・⑤から日本経済と世界経済について調べる(約2時間) 復)グローバル化と反グローバル化についての確認(約2時間)
第14週	アベノミクスの真実	成長戦略の限界と成熟社会への道	予)参考文献③および⑤の現在日本経済に関する箇所(約2時間) 復)アベノミクスの動向と問題点の整理(約2時間)
第15週	講義全体のまとめ	現代経済学の課題	予)講義内容全体の再確認(約2時間) 復)期末試験についての説明で取り上げた重要項目の確認(約2時間)
第16週	期末試験		

授業テーマ・内容

本講義では、技術に立脚する事業を行う企業・組織が、持続的発展のために、技術がもつ可能性を見極めて事業に結び付け、経済的価値を創出していくマネジメントの方法を学ぶ。マネジメント(management)とは広義の管理を意味し、経営目標を達成するための基本的な活動である。その範囲も開発、設計、生産、流通、安全等多岐にわたっている。

最初に経営を取り巻く環境と基本的な枠組みについて、次に具体的に開発、設計、生産、品質、物流について学ぶ。特に、生産システム(モノづくり)、品質管理については、多く時間を割き、具体的現実的な事例を基に講義し、社会人やビジネスマンまたはウーマンになったとき役立つ改善の考え方、手法に触れる。最後には、情報システム管理、安全管理、危機管理も学ぶ。

到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

マネジメントの仕方、改善の考え方、技法を習得することにより、それらを実作業で生かし、社会人やビジネスマンまたはウーマンとして、即戦力となり活躍出来ることを目標とする。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	70%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	—%
演習課題	—%
平常点	30%

テキスト

初学者向け「技術経営テキスト」-実践向け例題付きー
大坂吉文他共著 理工図書 2014年3月初版

参考書

「中小企業経営診断の実務」 大坂吉文他著 TAC 出版
「生産システム工学」 人見勝人著 共立出版

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

履修条件

予習・復習を必ずし、授業には、ノート、電卓、定規を持参下さい。
授業中は、携帯マナーモードにし、質問・意見を出してください。

備考

担当教員は自らの技術士事務所を持ち、コンサルタントとしての製造現場での生産管理・品質管理の実務経験をもつ。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業計画の概要	予)シラバスに目を通し、授業概要を把握しておく(約2時間) 復)IEにつてまとめる(約2時間)
第2週	企業経営	企業経営概論、プロジェクトマネジメント	予)テキスト1、2章熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第3週	製品開発と設計ツール	製品開発プロセス、開発ツール	予)テキスト3章熟読(約2時間) 復)VEについてまとめる(約2時間)
第4週	ものづくりとIE(1)	生産システム、工程分析	予)テキスト4章熟読(約2時間) 復)生産性、工程分析についてまとめる(約2時間)
第5週	ものづくりとIE(2)	IE、標準時間管理	予)テキスト4章熟読(約2時間) 復)標準時間設定についてまとめる(約2時間)
第6週	ものづくりとIE(3)	効率化へのアプローチ	予)テキスト4章熟読(約2時間) 復)JIT、MRPについてまとめる(約2時間)
第7週	ものづくりとIE(4)	ラインバランス分析	予)テキスト4章熟読(約2時間) 復)ラインバランス分析についてまとめる(約2時間)
第8週	原価管理	原価構成、財務管理	予)テキスト5章熟読(約2時間) 復)固定費、変動費、損益分岐点についてまとめる(約2時間)
第9週	品質管理(1)	品質の定義・日本の品質管理の歴史	予)テキスト6章熟読(約2時間) 復)品質、QC、QMIについてまとめる(約2時間)
第10週	品質管理(2)	統計的品質管理	予)テキスト6章熟読(約2時間) 復)QC7つ道具についてまとめる(約2時間)
第11週	品質管理(3)	全社的品質管理	予)テキスト6章熟読(約2時間) 復)新QC7つ道具についてまとめる(約2時間)
第12週	品質管理(4)	製造物責任、品質保証、リスクマネジメント	予)テキスト8章熟読(約2時間) 復)消費者保護、リスク低減法についてまとめる(約2時間)
第13週	ロジスティクス	サプライチェーン、ロジスティクスの動向	予)テキスト9章熟読(約2時間) 復)在庫管理についてまとめる(約2時間)
第14週	情報システム	ICT、情報セキュリティ	予)テキスト10章熟読(約2時間) 復)情報管理についてまとめる(約2時間)
第15週	労働安全と危機管理	労働安全管理、メンタルヘルス	予)テキスト11、12章熟読(約2時間) 復)リスクマネジメントについてまとめる(約2時間)
第16週	期末試験		

くらしと法律

(選択2単位) 2年後期

安井聖美*

授業テーマ・内容

我々の生活は様々な法律で囲まれている。場面場面により関係してくる法律には違いがでてくる。法律を大きく大別すると、市民としての生活に関する法律と、国民としての生活に関する法律とに分れる。前者を私法の領域、後者は国と国民の関係を定めた公法の領域である。私たちの日常のくらしにおいては、私法に関する法律が関係してくることが多い。私法の基本法は民法であり、民法を網羅的に学習することで、市民生活において法的な知識や経験がいかんにか大切に学んでいく。法律行為の代表である契約については、契約の主体や契約の対象(客体)について論理的に学習し、制限行為能力者制度などについても深く掘り下げ、高齢者社会に法律がどのように関与しているかも説明していく。企業経営における法律の関りも様々な角度から説明を行い、実務に役立つ法律知識を身につけることができるように学習する。また、時事問題は法律的な問題を含んでいることが多く、状況に応じ、新聞等に掲載された時事問題を取り上げ検討していく。日常生活における法律関係を自然と意識できるレベルになってもらいたい。

到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

受講者が日常生活には網の目のように法律関係がある事を理解し、民法についての最低限の網羅的な知識を身につける。
 具体的な到達目標
 <到達目標1> 法律が暮らしにおいてどのような位置づけにあるか、理解できるようになる。
 <到達目標2> 契約締結に必要な知識を身につける。
 <到達目標3> 民法における重要な規定・考え方を理解する。
 <到達目標4> タイムリーな話題について新聞を利用して解説し、法理が身近な部分に関与していることを知る。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	40%	中間試験	20%
小テスト	20%	レポート	20%
演習課題	20%	平常点	20%

テキスト

「リール・ベイス 民法入門」道垣内弘人著 日本経済新聞出版社
 補助レジュメも別途用意する。

参考書

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

授業内に行う課題については、講義内でポイントを解説および講評を行う。

履修条件

講義に出席するだけでなく、講義の内容を聞いて、講師の質問にも答えられる態度でいること

備考

実務教員として、長年の法務・会計・税務上の経験に基づき、現代のビジネス実務を講義に毎回反映し、ビジネスについて際際に有用となる教養を伝授する。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	オリエンテーション/法の基本概念	我々を取り巻く法律についてどのような意味があるか理解する。	復) 法の強制力と機能について、講義で習ったことをまとめる
第2週	原則としての契約自由	契約の基本は何か、人は契約等の主体であり、その真意が重要であることを確認する。	予) 教科書p50-p125を読んでおくこと 復) 契約の主体と意思表示に関する基本事項について講義で習ったことをまとめる。
第3週	いろいろな契約1	財産の譲渡(売買)と財産の利用(貸借)に関する契約について学ぶ。	予) 教科書p128-p195を読んでおくこと 復) 売買契約と賃貸借契約に関する基本事項について講義で習ったことをまとめる。
第4週	いろいろな契約2	役務を提供する契約やその他の契約について学ぶ。	予) 教科書p198-p243を読んでおくこと 復) 身近の様々な契約を見つけ、講義内容と関連させる。
第5週	契約の履行	債務の履行にはどのような種類があるかと時効による債務の消滅を学ぶ。	予) 教科書p246-p282を読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 債務履行と時効に関する基本事項について講義で習ったことをまとめる。
第6週	契約に関するまとめ	契約における意思表示の重要性と各契約の債務の履行についてまとめる。	予) 契約における基本事項を理解し、関連する記事検索 復) 契約の意思表示に関する基本事項について講義で習ったことをまとめる。
第7週	契約の不履行と履行の強制	債務が履行されないケースと履行の強制のための法的手段をまとめる。	予) 教科書p284-p335を読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 契約の解除と損害賠償責任について講義で習ったことをまとめる。
第8週	不良債権の回収	責任財産保全の方法と様々な債権回収方法について学ぶ。	予) 教科書p338-p391を読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 責任財産の保全方法についてまとめること
第9週	物権とその取得	物権とは何か。物権変動の公示と対抗要件について学ぶ。	予) 教科書p394-p454を読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 物権に関する基本事項について講義で習ったことをまとめる。
第10週	各種の物権	具体的な物権(所有権、占有権、担保物権)について学ぶ。	予) 教科書p456-p530を読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 各種の物権についてまとめること
第11週	不法行為	不法行為の内容と不法行為責任、事務管理と不当利得について学ぶ。	予) 教科書p532-p583を読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 不法行為責任と事務管理、不当利得についてまとめること
第12週	損害賠償と物権に関するまとめ	債務不履行と不法行為による損害賠償責任をまとめる。物権の基本事項をおさえる。	予) 教科書p132-p133を読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 損害賠償と物権に関する基本事項について講義で習ったことをまとめる。
第13週	結婚と離婚・子供と高齢者	身分法としての婚姻の性格を理解する。親子関係と扶養・成年後見制度を学ぶ。	予) 教科書p586-p694を読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 婚姻関係と親子関係に関する基本事項について習ったことをまとめる。
第14週	相続	法定相続の必要性、遺言と遺産分割について学ぶ。	予) 教科書p696-p742を読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 相続法に関する内容をまとめること
第15週	家族法に関するまとめ/課題	家族法(身分に関する法律と相続に関する法律)のまとめと今後、講義で習った民法の基本事項をどのように利用するかをまとめる。	予) 家族法に関する基本事項を理解し、関連する記事検索 課題に対して自らの考えをまとめること 復) 講義で習った民法に関する基本事項を復習しておくこと。

一般教育

地球環境論

(選択2単位) 2年前期

村田安繁*

授業テーマ・内容

人類は、地球環境に支えられて生存している。しかし、人間活動は環境に影響を与え、時として、人類の生存を脅かすように環境を悪化させた歴史や、また、それを回復させた歴史がある。このような歴史を通して得た知識や技術は、現在及び未来の人類が健康で文化的な生活を営むのに不可欠な人類の英知である。

この英知を受け継ぎ、環境・社会・経済のバランスの取れた産業技術により持続可能な発展を目指す為の基礎を学ぶことが本講座のテーマである。

到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連

- ・環境やそれにかかわる諸問題に気づき、関心を持つとともに、現在の問題の解決と、新しい問題の未然防止に向けて、個人的、集団的に活動する上で必要な知識、技能、態度、意欲、実行力を身につけることをねらいとする(1975年 ベオグラード憲章より引用)。
- ・上記のねらいに対し、技術者として自分の行うべきことの認識を持つことを目標とする。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	50%
中間試験	—%
小テスト	—%
レポート	30%
演習課題	10%
平常点	10%

テキスト

新訂 地球環境の教科書 10講
東京書籍刊 九里・左巻・平山 編著

参考書

改訂新版 地球環境がわかる
技術評論社 西岡・宮崎・村野

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

環境に関するレポート2題の提出を求め、評価します(独自性、内容、ボリューム、完成度)。

演習課題として、授業の中で話題を提供し、意見交換での発言を求めます(発言メモの提出)。

履修条件

意見交換では合理的で積極的な発言を期待します。

備考

担当教員に製造業(電気機械)の実務経験あり

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス 環境教育の目指すもの	地球環境論を学ぶ意義	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)環境教育の目的と意義の理解 (2時間)
第2週	地球環境問題、何がどう問題?	直面する問題と未来の懸念	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)問題の種類、内容、原因の理解 (2時間)
第3週	公害と環境汚染1	公害の歴史	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)主要な公害についての理解 (2時間)
第4週	公害と環境汚染2	公害と環境汚染の今 公害防止技術	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)主要な問題と対策法の理解 (2時間)
第5週	地球温暖化の科学と政治1	地球温暖化の問題	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)温暖化の原因と影響の理解 (2時間)
第6週	地球温暖化の科学と政治2	地球温暖化への取り組み	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)温暖化対策の歴史と内容の理解 (2時間)
第7週	酸性化する大気と海洋	酸性雨、PM2.5、海洋酸性化	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)酸性化の原因と影響の理解 (2時間)
第8週	石油は40年でなくなるのか?1	化石燃料と脱化石燃料1	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)化石燃料と原子力技術の理解 (2時間)
第9週	石油は40年でなくなるのか?2	脱化石燃料2	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)原子力・太陽エネルギーの理解 (2時間)
第10週	オゾン層破壊がもたらすこと	オゾン層破壊と対策	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)破壊の原因、影響、対策の理解 (2時間)
第11週	生態系の危機	生態系の破壊と保護、生物多様性	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)生態系、生物多様性の理解 (2時間)
第12週	あふれるごみ	ごみ問題とリサイクル	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)内外のごみ問題と対策の理解 (2時間)
第13週	水の危機の時代	水問題と対策	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)水問題の原因と取組の理解 (2時間)
第14週	企業と環境経営	企業の社会的責任、ISO14001、ESGとSDGs	予)教科書の該当部を読み考える (2時間) 復)環境経営とミットの理解 (2時間)
第15週	まとめ	1~14週の振り返り	予)教科書、配布資料、ノートの確認 (2時間) 復)講義全般の見直し (2時間)
第16週	期末試験		